

研究課題名	透析カテーテルの留置部位における多角的評価
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 臨床工学技術課 氏名 島崎雅史
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後 ～ 2023年12月
研究の意義・目的	<p>急性血液浄化や透析導入前のバスキュラーアクセス未作製においては短期カテーテル、留置カテーテルを用いて血液浄化を行っており、当院では腎臓内科をはじめとして複数の診療科が血液浄化目的でのカテーテル留置手技を行っている。</p> <p>スタッフ（医師、看護師、臨床工学技士）が透析カテーテルにおいて、トラブル（脱血不良、再循環等）に遭遇する場面は少なくなく、カテーテル留置部位によるトラブル発生の差があるのは経験しているが、デジタル化されたデータはない。</p> <p>また、当院では3種類の短期留置カテーテル、1種類の長期留置カテーテルを使用しており、デバイス毎での比較もあまりない。</p> <p>以上を踏まえて我々は、留置部位によるトラブルの把握、適正な留置部位、デバイスの評価を行い、スタッフのトラブル対応頻度の軽減、再度カテーテルの入れ直しなどによる患者への苦痛軽減を目的とする。</p> <p>また、透析カテーテルを挿入する他科への情報共有も行う。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	2019年10月から2022年12月の透析カテーテルによる透析実施記録や患者のレントゲンでの留置位置を電子カルテより後方視的に調査・検討する。
<p>①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む)</p> <p>②利用し、又は提供する試料・情報の項目</p> <p>③利用する者の範囲</p> <p>④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>①研究対象者には研究用Noを割り振り、氏名と研究用Noの対応表を作成する。元データからは、氏名を削除し、研究に用いる。研究期間を通して対応表ファイルはパスワードをかけ、情報共有フォルダにあるパスワードロックのかかるスタンドアローンのパソコンで厳重に保管する。研究終了後は5年の保存期間を経過後速やかに廃棄する。</p> <p>② 1)患者基本情報(年齢、性別、CKD/DMの既往) 2)カテーテルに関する情報(挿入部位、留置位置、種類) 3)透析記録(カテーテルによる透析のトラブル、効率)</p> <p>③ 2019年10月以降、院内で間欠的血液透析を施行しFN-WEBに記録された透析記録とレントゲンから透析カテーテルによる透析のトラブルや効率を調査可能な症例を対象とする</p> <p>④ 個人情報管理の責任者 島崎雅史 清水勇人</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 臨床工学技術課 氏名 島崎 雅史</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>